

サイボウズ Office 8 API サンプルツール マニュアル

第1版

株式会社ジョイゾー

目次

目次.....	2
1章 サンプルツールについて.....	3
1.1 はじめに.....	3
1.2 概要.....	4
1.3 動作環境.....	5
1.4 環境構築.....	5
1.5 プログラムの実行.....	6
1.6 設定ファイルの仕様.....	7
1.6.1 共通項目.....	7
1.6.2 有給休暇登録連携用設定ファイル.....	8
1.6.3 スケジュール情報取得連携用設定ファイル.....	9
1.6.4 ユーザー情報取得連携用設定ファイル.....	10
2章 サンプルツール.....	11
2.1 有給休暇登録連携.....	11
2.1.1 有給休暇申請用 CSV ファイルの作成.....	11
2.1.2 スケジュール登録連携.....	12
2.2 スケジュール情報取得連携.....	13
2.2.1 検索条件 CSV ファイルの作成.....	13
2.2.2 スケジュール情報取得連携.....	14
2.3 ユーザー情報取得連携.....	15
2.3.1 検索条件ファイルの作成.....	15
2.3.2 ユーザー情報取得連携.....	16

1章 サンプルツールについて

1.1 はじめに

この文書は、Office 8 連携 API を利用したサンプルツールについて説明する文書です。本文書を読む前に API マニュアルを読んでおり、Office 8 の知識があることを前提としています。

紹介するサンプルツールは、Office 8 のスケジュール及びベース API を利用した連携するサンプルで、以下の処理を行うツールが同梱されています。

- ・有給休暇登録連携

有給休暇情報が登録されている CSV ファイルを読み込み、スケジュールに登録

- ・スケジュール情報取得連携

検索条件が登録されている CSV ファイルを読み込み、スケジュール情報を XML 形式で取得

- ・ユーザー情報取得連携

検索条件が登録されている CSV ファイルを読み込み、ユーザー情報を XML 形式で取得

本ツールはサンプルとなりますので、このツールに関する問い合わせについては回答ができない場合がございます。予めご了承ください。

1.2 概要

API を利用したサンプルツールを紹介します。 サンプルツールは本文書と共に配布されている以下のファイルに格納されています。

有給休暇登録連携	ScheduleAddHoliday.jar
スケジュール情報取得連携	Schedule2Export.jar
ユーザー情報取得連携	UserInfo2Export.jar

また、上記プログラムを実行するための共通ライブラリとして、officeapi.jar ファイルが必要となります。

それ以外でサンプルツールの実行に必要なライブラリはありませんので、各 jar ファイルと officeapi.jar ファイル以外のライブラリをクラスパスに追加する作業は必要ありません。

各 jar ファイルに同梱されているサンプルツールは以下の通りです。

有給休暇登録連携プログラム (ScheduleAddHoliday.jar)

プログラム名	説明
ScheduleAddHoliday	有給休暇申請用 CSV ファイルを読み込み、ユーザーのスケジュールに有給休暇情報を登録します。

スケジュール情報取得連携プログラム (Schedule2Export.jar)

プログラム名	説明
Schedule2Export	検索条件 CSV ファイルを読み込み、検索結果のスケジュール情報を XML ファイルで出力します。

ユーザー情報取得連携プログラム (UserInfo2Export.jar)

プログラム名	説明
UserInfo2Export	検索条件 CSV ファイルを読み込み、検索結果のユーザー情報を XML ファイルで出力します。

1.3 動作環境

サンプルツールを実行させるには、以下の環境が必要です。

1. Office 8 がインストールされたサーバー
2. Java 1.6 の実行(開発)環境

現在、Sun Microsystems の Java のみ検証済みです。その他ベンダーの Java 環境は未検証です。

Java 実行(開発)環境は java.sun.com からダウンロードすることが可能です。

<http://java.sun.com/>

手順に従って Java 環境をインストールして下さい。

【補足】

弊社提供のコンパイル済みサンプルツールを使用する場合は、JRE 実行環境のみ必要です。開発を実施していく場合、SDK 開発環境が必要になります。

本ツールは windows 2008 R2 64bit 及び RedHat Enterprise Linux 5.3 64bit で動作確認しております。

また、本ツールが動作確認している Office のバージョンは 8.1.3 以降のバージョンとなります。それ以前のバージョンでは動作確認は行っていませんのでご注意ください。

1.4 環境構築

サンプルツールを実行させるために officeapi.jar を JRE (Java Runtime Environment) の lib/ext ディレクトリに設置します。

例として Java 実行環境を C ドライブにインストールした場合は以下のディレクトリに設置します。

C:\Program Files\Java\jre6\lib\ext

1.5 プログラムの実行

サンプルツールの実行の仕方について説明します。

プログラムを実行する際、接続情報などを含めた設定ファイル(properties ファイル)をコマンドラインから指定する必要があります。本サンプルはプログラム毎に設定ファイルが必要となり、実行時のパラメーター(-c オプション)で各設定ファイル名を指定します。

実行コマンド例

```
> java [ClassName] -c C:¥test¥windows_holiday.properties [他のパラメーター]
```

プログラムを実行するディレクトリ上に以下のファイル名の設定ファイルが存在する場合は、パラメーターを指定せずにプログラムを実行させることが可能です。

連携プログラム	設定ファイル名
有給休暇登録連携	holiday.properties
スケジュール情報取得連携	schedule.properties
ユーザー情報取得連携	getusers.properties

1.6 設定ファイルの仕様

各サンプルツールで指定する設定ファイルの仕様について説明します。

1.6.1 共通項目

各設定ファイルで以下の項目は共通必須項目となります。

設定ファイル共通項目

項目名	必須	説明
officeURL	○	接続先 OfficeURL 例) officeURL= http://xxx/scripts/cbag/ag.exe
username	○	API 実行ユーザーログイン名 例) username = takahashi
password	○	API 実行ユーザーパスワード 例) password = secret
keyitem	○	対象ユーザーの識別項目 id: 内部ユーザーID name: ログイン名 例) keyitem = name

※連携 API における Office 8 との連携機能では、Office 8 本体に準拠したアクセス権判定を行っています。API 実行ユーザーがアクセス権を与えられていない処理を行った場合、Office 8 本体と同様のアクセス権違反エラーが発生します。

また、username にはログイン名を設定するため API 実行ユーザーにはログイン名を設定する必要があります。

1.6.2 有給休暇登録連携用設定ファイル

共通項目の他に以下の項目が必須項目となります。

有給休暇登録連携設定ファイル項目

項目名	必須	説明
title	○	スケジュールに登録する件名 例) title = 休暇

有給休暇登録連携用設定ファイルの例

```
##Office 接続情報
#接続先 URL
officeURL=http://xxxx.joyzo.co.jp/scripts/cbag/ag.exe
#API 実行ユーザーログイン名
username=takahashi
#API 実行ユーザーパスワード
password=secret
#登録対象ユーザーの識別項目
# id: 内部ユーザーID、name: ログイン名
keyitem=name

# スケジュールデータ
title=休暇
```


1.6.3 スケジュール情報取得連携用設定ファイル

共通項目の他に以下の項目が必須項目となります。

スケジュール情報取得連携用設定ファイル項目

項目名	必須	説明
exportdir	○	スケジュールデータの出力先ディレクトリ 例) exportdir=C:¥¥office¥¥api¥¥export

※Windows の場合、ディレクトリの区切り文字は¥マークを2つ記述してください。

スケジュール情報取得連携用設定ファイルの例

```
##Office 接続情報
#接続先 URL
officeURL=http://xxxx.joyzo.co.jp/scripts/cbag/ag.exe
#API 実行ユーザーログイン名
username=takahashi
#API 実行ユーザーパスワード
password=secret
#取得対象ユーザーの識別項目
# id: 内部ユーザーID、name: ログイン名
keyitem=name

# スケジュールデータの出力先ディレクトリ
exportdir= C:¥¥office¥¥api¥¥export
```

1.6.4 ユーザー情報取得連携用設定ファイル

共通項目の他に以下の項目が必須項目となります。

ユーザー情報取得連携用設定ファイル項目

項目名	必須	説明
exportdir	○	ユーザーデータの出力先ディレクトリ 例) exportdir=C:¥¥office¥¥api¥¥export

ユーザー情報取得連携用設定ファイルの例

```
##Office 接続情報
#接続先 URL
officeURL=http://xxxx.joyzo.co.jp/scripts/cbag/ag.exe
#API 実行ユーザーログイン名
username=takahashi
#API 実行ユーザーパスワード
password=password
#取得対象ユーザーの識別項目
# id: 内部ユーザーID、name: ログイン名
keyitem=name

# スケジュールデータの出力先ディレクトリ
exportdir= C:¥¥office¥¥api¥¥export
```

2章 サンプルツール

2.1 有給休暇登録連携

有給休暇申請用 CSV ファイルからスケジュールヘデータの登録を実現するために API を用いたサンプルツールの使用例を示します。

連携に対する操作は以下の1つのプログラムで構成されており、これを実行することで連携を行うことができます。

操作	プログラム
有給休暇登録連携	ScheduleAddHoliday

このプログラムでは以下の API を使用しています。

API	内容
BaseGetUsersByLoginName	ログイン名からユーザー情報を取得
ScheduleAddEvents	スケジュールにデータを登録

2.1.1 有給休暇申請用 CSV ファイルの作成

Office 8 のスケジュールに登録するための有給休暇申請用 CSV ファイルを作成します。CSV ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

有給休暇申請用 CSV ファイルのフォーマット

カラム名	必須	説明
ユーザー識別キー	○	登録対象となるユーザーの識別キー id : 内部ユーザーID name : ログイン名
登録開始日時	○	登録する開始日時 (yyyy/MM/dd HH:mm)
登録終了日時	○	登録する終了日時 (yyyy/MM/dd HH:mm)

フォーマット例

```
takahashi,2011/06/01 09:00,2011/06/01 18:00
takahashi,2011/06/02 09:00,2011/06/02 18:00
wada,2011/06/10 09:00,2011/06/12 18:00
kato,2011/06/02 09:00,2011/06/02 18:00
```

2.1.2 スケジュール登録連携

office.api.main.sample1.ScheduleAddHoliday を実行すると、有給休暇申請用 CSV ファイルからスケジュール登録情報を取得し、登録対象に指定されているユーザーのスケジュール情報にデータを登録します。

書式 : ScheduleAddHoliday [オプション] [パラメーター]

オプション	必須	説明
-c	×	設定ファイル名
-i	○	有給休暇申請用 CSV ファイル名
-s	○	入力文字コード 「UTF-8」か「Shift-JIS」か「EUC-JP」の一つを指定

実行コマンド例

```
>java -cp ScheduleAddHoliday.jar office.api.main.sample1.ScheduleAddHoliday
-c .¥windows_holiday.properties -i .¥holiday.csv -s UTF-8
```

2.2 スケジュール情報取得連携

検索条件用 CSV ファイルで指定された検索条件を元に抽出されたスケジュールデータの出力を実現するために API を用いたサンプルツールの使用例を示します。

連携に対する操作は以下の 1 つのプログラムで構成されており、これを実行することでデータ取得を行うことができます。

操作	プログラム
スケジュール情報の取得	Schedule2Export

このプログラムでは以下の API を使用しています。

API	内容
BaseGetUsersByLoginName	ログイン名からユーザー情報を取得
ScheduleGetEventsByTarget	スケジュールのデータを取得

2.2.1 検索条件 CSV ファイルの作成

Office 8 からスケジュール情報を取得するために検索条件 CSV ファイルを作成します。CSV ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

検索条件 CSV ファイルのフォーマット

カラム名	必須	説明
ユーザー識別キー	○	登録対象となるユーザーの識別キー id : 内部ユーザーID name : ログイン名
検索対象開始日時	○	検索対象とする開始日時 (yyyy/MM/dd HH:mm)
検索対象終了日時	○	検索対象とする終了日時 (yyyy/MM/dd HH:mm)

フォーマット例

```
takahashi,2011/06/01 09:00,2011/06/01 18:00  
wada,2011/06/10 09:00,2011/06/12 18:00  
kato,2011/06/02 09:00,2011/06/02 18:00
```

検索条件の開始日時と終了日時の範囲内に、スケジュールの開始日時と終了日時がおさまっているスケジュールデータが抽出対象となります。

また、終日予定やバナー予定の場合、時間指定に関係なくスケジュールの日付が検索日付の範囲内に入っていれば検索対象となります。

2.2.2 スケジュール情報取得連携

office.api.main.sample2.Schedule2Export を実行すると、検索条件 CSV ファイルから検索条件情報を取得し、抽出されたスケジュール情報を XML ファイルとして指定したディレクトリに出力します。

書式 : Schedule2Export [オプション] [パラメーター]

オプション	必須	説明
-c	×	設定ファイル名
-i	○	検索条件 CSV ファイル名
-s	○	入力文字コード 「UTF-8」か「Shift-JIS」か「EUC-JP」の一つを指定

実行コマンド例

```
>java -cp Schedule2Export.jar office.api.main.sample2.Schedule2Export  
-c .¥windows_schedule.properties -i .¥schedule.csv -s UTF-8
```

出力 XML のフォーマット

XML ファイルは Office API で規定されている EventType 型で出力されます。型の詳しい内容についてはサイボウズ社より提供されているサイボウズ_Office8_API マニュアル(スケジュール)をご確認ください。

2.3 ユーザー情報取得連携

検索条件用 CSV ファイルで指定された検索条件を元に抽出されたユーザー情報データの出力を実現するために API を用いたサンプルツールの使用例を示します。

連携に対する操作は以下の 1 つのプログラムで構成されており、これを実行することでデータ取得を行うことができます。

操作	プログラム
ユーザー情報の取得	UserInfo2Export

このプログラムでは以下の API を使用しています。

API	内容
BaseGetUsersByLoginName	ログイン名からユーザー情報を取得
BaseGetUsersById	内部ユーザーID からユーザー情報データを取得

2.3.1 検索条件ファイルの作成

Office 8 からユーザー情報を取得するために検索条件ファイルを作成します。ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

検索条件ファイルのフォーマット

カラム名	必須	説明
ユーザー識別キー	○	登録対象となるユーザーの識別キー id : 内部ユーザーID name : ログイン名

フォーマット例

takahashi
kato

2.3.2 ユーザー情報取得連携

office.api.main.sample3.UserInfo2Exportを実行すると、検索条件ファイルから検索条件情報を取得し、抽出されたユーザー情報を XML ファイルとして指定したディレクトリに出力します。

書式 : UserInfo2Export [オプション] [パラメーター]

オプション	必須	説明
-c	×	設定ファイル名
-i	○	検索条件ファイル名
-s	○	入力文字コード 「UTF-8」か「Shift-JIS」か「EUC-JP」の一つを指定

実行コマンド例

```
>java -cp UserInfo2Export.jar office.api.main.sample3.UserInfo2Export  
-c .¥windows_getusers.properties -i .¥getusers.csv -s UTF-8
```

出力 XML のフォーマット

XML ファイルは Office API で規定されている UserType 型で出力されます。型の詳しい内容についてはサイボウズ社より提供されているサイボウズ_Office8_API マニュアル(ベース)をご確認ください。